

# 後志広域連合が設立。 近隣町村との共同事務が スタートしました。



「後志広域連合」の看板を掲げる連合長・宮谷内留雄  
蘭越町長（右）と伊東和紀前後志支庁長

4月24日、後志管内16町村（※）による「後志広域連合」が設立し、行政事務の共同化が始まりました。設立にあたり町村長による選挙で選ばれた連合長の宮谷内留雄蘭越町長は、「広域連合を成功させるにはそれぞれの町村の利益はもちろん、後志全体の立場から互いに補い合い、助け合うことが何よりも大切だ。地域の個性を残し・育てる新しい自治のモデルとして全国に発信できるものとなるよう、尽力していきたい」と決意を語りました。後志広域連合には、二セコ町からも職員を一人派遣しています。



「後志広域連合」事務所の様子

（※）島牧、黒松内、蘭越、二セコ、真狩、留寿都、喜茂別、京極、倶知安、共和、泊、神恵内、積丹、古平、仁木、赤井川の計16町村で構成。